

今回の衆院選の疑問に西田昌司が全て答えます 2

2017.10.10

Q. 一体何のための選挙ですか？

A. 北朝鮮危機や少子高齢化で先が見えない国難の時代、誰に国政を委ねるかを問うための選挙です。

Q. 何故今なのか、北朝鮮危機なのに選挙をしてる場合じゃないですよ。野党がバラバラで有利と思ったからですか？

A. 違います。北朝鮮危機は、いつ収束できるか分かりません。今はまだ、北朝鮮に国際社会が圧力をかけている状態ですが、来年末までの任期中にはもっと緊張が高まる恐れもあります。北朝鮮危機に対応するためにも安倍内閣が推し進めた平和安保法や特定秘密保護法などの政策を国民に理解してもらう必要があります。その信を問うものです。

Q. 平和安保法等とどういう関係があるのですか？

A. 北朝鮮危機に対応するため、米国や韓国から様々な情報提供を受け、国民を守るため対処しています。秘密保持を担保する法律が無かったら、米国や韓国から情報を提供してもらえなかったのです。また、米軍の艦船が日本海で日本を守るため展開しています。これも同盟国との集団的自衛権を認め合えばこそできたのです。もしこれらの法律が無ければ、日本は何の情報も入らず、孤立無援で対応するしかなかったかと思うとゾッとします。

Q. 確か、野党はこれらの法律に反対していたのではありませんか？

A. 民主党や共産党などの野党は平和安保法を戦争法と呼び反対してきました。特定秘密保護法も人権侵害につながると反対をしてきたのです。それが、希望の党に合流するとなると賛成の立場を表明しています。私には全く理解できません。今回の選挙ではこうした安倍内閣の政策が正しかったのか、野党の主張が正しかったのか、信を問うものなのです。